

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 食道癌における化学療法前後の SLFN11 発現変化と臨床経過に関する検討
	●研究の対象 2020 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日に当院で食道癌に対し術前化学療法を含めた治療が行われた方 150 名
	●研究の目的 食道がんの手術治療には、術前化学療法が有効と考えられていますが、近年、食道がんにおける SLFN11 という遺伝子の発現程度が化学療法の効果を予測できる可能性が示されています。ただし、SLFN11 発現が、食道がんの化学療法の効果予測に本当に有効であるかは、まだまだ不明な点が多くあります。この研究では、これらの治療を受けた患者さんのカルテデータおよび食道がんの生検・手術検体の SLFN11 発現から、SLFN11 が食道がんの治療効果を予測できるかどうかを明らかにすることを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2029 年 3 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

は提供する試料・情報の項目》	情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等 試料：内視鏡生検検体、手術検体
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 山出美穂子
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《問い合わせ
先》

〒431-3192

浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号

浜松医科大学

部署名： 内科学第一

担当者： 山出美穂子

TEL： 053-435-2261